

議長	事務局長	次長	係長	事務局員

復命書

令和2年2月3日

三沢市議会 議長 船見 亮悦 殿

広報委員会

委員長	春日洋子	
副委員長	瀬崎雅弘	
委員	佐々木卓也	
〃	下山光義	
〃	遠藤泰子	
〃	加澤明	
随行	川嶋貴彬	
随行	浪岡光平	

先に旅行した結果について、次のとおり復命いたします。

記

- 目的 広報委員会行政視察
- 期間 令和2年1月22日(水)～24日(金)
- 視察先 愛知県日進市、岡崎市
- 概要 別紙のとおり

日進市の概要

日進市は愛知県のほぼ中央部に位置する、人口約9万1千人の都市です。平成6年10月に市制が施行され日進市となっています。名古屋市・豊田市という大都市に隣接し、市全体に緑豊かな自然環境が残ることから住宅都市として発展を続けており、現在も人口増加が続いています。

視察項目『議会広報誌をはじめとする議会広報の取り組みについて』

この日は、広報委員会委員長の大橋ゆうすけ議員、副委員長の山田久美議員から、日進市議会の取り組みについてご教示いただきました。

日進市議会では、平成6年の市制施行に伴い議会だより編集委員会を設置し、その後平成8年に議会広報特別委員会へと組織を発展させ、現在は7人の委員によりにっしん市議会だよりを年4回発行しています。

議会だよりの編集では、編集スケジュールやページ構成を決定する委員会を開催した後、原稿の作成依頼や編集・校正等などの作業を行い、1回の発行につき委員会を5回程度開催しています。原稿の作成に当たっては、書き方や見出しの付け方、編集方針や使用写真の肖像権などについて委員会としてのルールや方針を明確に定め、議員に周知していました。

障害のある方へ議会だよりを届ける取り組みも行われています。ボランティアグループへの委託により、点字本や音訳CDを作成し、公共施設への設置や貸し出しを行っています。また、誌面の2色刷りページには青色を採用しており、これは色覚障害を体験する眼鏡を使って様々な色を試した結果、青色が最も見やすかったためとのことでした。

また、議会報告会の実施状況についてもお聞きすることができました。これまで9回開催しており、「議員が伝えたいことと市民が聞きたいことが噛み合わない」「なかなか新しい人に来てもらえない」など、前年度にみられた問題点について改善を図りながら開催しているとのことでした。

所感

日進市議会の広報に取り組む議員の方からお話を伺うことができ、率直な質問や意見交換をすることができました。取り組みについて伺う中で、日進市議会では議員一人ひとりが責任感を持ち積極的に議会広報に取り組んでいる印象を

受けました。また、委員会として詳細なルールを策定し周知すること、障害のある方へ情報を届けるための工夫など、今後議会広報誌を作成するに当たって非常に参考となる取り組みを知ることができました。

議会の広聴に係る取り組みとして、議会報告会の実施状況についてお聞きすることができました。開催の度に問題点を認識し、形式を変えながら毎年開催していました。三沢市議会においても今後は広聴活動へより一層注力していくたいと考えているところであり、今後の取り組みを検討する上で今回の事例をよく参考にしたいと思います。

岡崎市の概要

岡崎市は、愛知県のほぼ中央に位置する、人口約38万8千人の都市です。古くは徳川家康公の生誕の地の城下町として栄えた歴史があり、明治からは織維や自動車などものづくり産業のまちとして発展しました。名古屋市や豊田市へのアクセスが良く、現在も人口増加が続いています。平成15年に中核市に移行し、平成28年に市制施行100周年を迎えました。

視察項目『議会広報誌をはじめとする議会広報の取り組みについて』

岡崎市議会では、これまで議会広報誌を作成のみを協議する「議会報委員会」が議会広報を担っていましたが、平成30年に議会広報委員会を設置し、広報誌だけでなくウェブサイトや議会中継による広報活動等に取り組んでいます。

9人の委員により年5回（4回の定例会と1回の臨時会）発行しており、編集や校正等のため1回の発行につき委員会を3回程度開催しています。表紙写真は広報委員が交代で撮影しており、冊子をより多くの方の手に取ってもらえるよう、表紙全面に大きく写真を掲載しています。

広報誌以外の取り組みとして、市議会ウェブサイトへのキッズページの開設、市内に4校ある大学の学生と議員との意見交換会を開催しており、どちらも議会広報委員会が担当しています。学生との意見交換会は、各大学の専攻と関連の深い議会の委員会とで意見交換を行っているとのことでした。

また、市議会のインターネット映像配信について詳しくお話を伺いました。本会議については専用のシステムを導入しており、ライブ配信に加え、映像の切り分け等の加工後に録画配信も行っています。さらに、令和元年度より常任委員会及び特別委員会の録画配信も行っています。こちらは専用システムの導入には至っていませんが、定点カメラ1台を設置し、既存のマイクで録音された音声との合成やテロップ等の加工を行った後、Y o u T u b eで配信しています。映像加工を外部委託していないため公開までに時間がかかること、現在は視聴回数が多くないなどまだまだ手探りの段階であるとのことでしたが、低コストでスタートしているなど非常に参考となる取り組みでした。

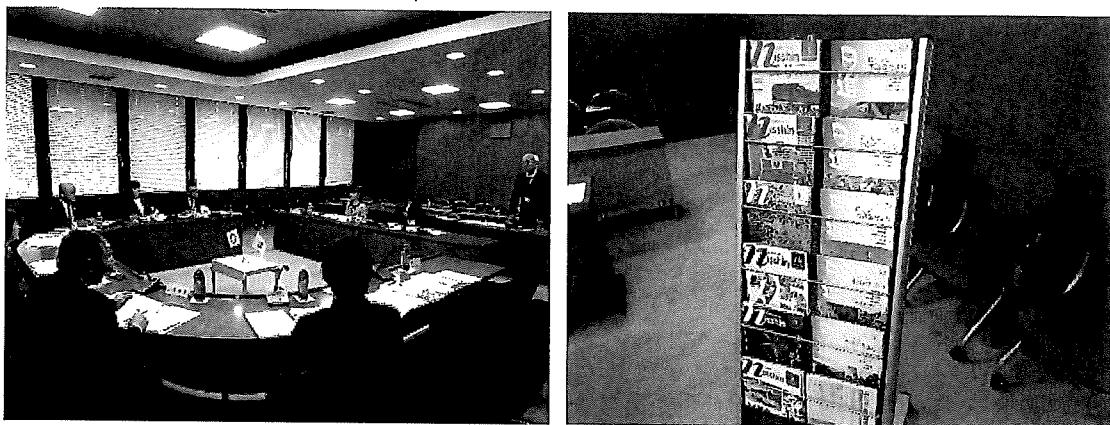
所感

広報誌の制作体制や編集過程、市民との意見交換会などについて詳細な説明を頂きました。当市議会でも同様に実施している取り組みであっても様々に異なる点が見られ、大変参考となりました。

また、議場に設置されている議会映像の配信に係るシステムを見せていただきました。映像のインターネット配信は、導入や運用にコストがかかるものではありますが、今後の検討課題にしたいと思います。

そして、ウェブサイトでのキッズページ開設や委員会のインターネット配信など、費用がかからない、または少ない費用取り組める事項についてもお話を伺うことができ、大変参考となりました。今後当市議会でも、今回の事例を参考に検討していきたいと思います。

視察写真 愛知県日進市



視察写真 愛知県岡崎市

